

平成20年度 尊厳擁護専門委員会 開催報告

【活動実績と今後の課題等について】

1 開催状況

	開催日	内 容
第1回	6 / 30 (月)	・平成19年度における事故、苦情相談、介護サービス相談員派遣事業に関する報告について ・北九州八幡東病院における虐待に関するその後の取り組み状況について ・虐待の疑いと思われる事例の調査結果について ・(仮称)新北九州市高齢者支援計画の策定について

2 主な活動実績

(1)平成19年度事故報告について

ア 事故報告件数は、平成18年度に比べ100件程度(約10%)減少している。

これは、平成19年度から事故報告を提出する場合のケガの程度について、原則として、医療機関において受診(施設内における受診を含む)したのから、受診の結果、治療を行ったものに対象を変更した影響があると考えている。

事故は月別で見た場合、8月・12月が他の月に比べ、若干多くなっている。

これに対して、委員から、

事故が多い時期に特徴や傾向があれば、事業所での事故防止のための情報提供について検討してほしい。

などの意見があった。

イ 種類別の事故件数では、誤嚥及びその他感染症の事故件数が減少している。

これについて、まず誤嚥事故の減少は、事故再発防止に向けた「参考となる取り組み事例」を全事業所に送付し、事故防止に取り組んだ成果であり、その他感染症の事故の減少は平成18年度に感染性胃腸炎(ノロウイルス)が流行した影響等によるものであると考えている。

ウ 死亡事故等については、平成18年度17件から9件に減少している。

このうち、誤嚥によるものが平成18年度15件から5件に、それ以外に、自殺によるものが平成18年度0件から3件などとなっている。

これに対して、委員から、

- ・誤嚥による死亡事故は5件に減少しているが、さらにゼロになるよう取り組みを継続していく必要がある。
- ・自殺に関して、利用者の心理面でのケアの必要性を施設に対して周知するようにしてほしい。

などの意見があった。

エ 事故再発防止に向けた「参考となる取り組み事例」の送付後の取り組みに関するアンケート結果について、

対象施設・事業所数485のうち8割以上からの回答があり、

紹介した事例が参考となったが、96.5%

紹介した事例を契機に、マニュアル等を見直したが、60.9%

であった。

(2)平成 19 年度苦情相談について

- ア 平成 19 年度の苦情・相談件数は平成 18 年度に比べて約 1 万件（約 13%）減少しており、特に、相談については 15%以上の大幅減少となっている。
これは平成 18 年度が制度改正のあった第 3 期事業計画の初年度であったのに対し、平成 19 年度は制度改正の周知により相談件数が減少したものと考えている。
ただし、苦情は若干増加しており、内訳としては保険料及び制度に関するもの等である。

(3)平成 19 年度介護サービス相談員派遣事業について

- ア 派遣対象施設・事業所数は平成 19 年度 106 で、平成 18 年度 81 より増加している。
イ 事業種別ごとに派遣割合が高いのは、特別養護老人ホーム 55.8%、グループホーム 45.9%で、他については、派遣割合は低くなっている。
ウ 介護サービス相談員の受入れについては、施設・事業所の任意によるため、今後より多くの施設・事業所が積極的に派遣を希望するように、制度の PR や派遣対象施設・事業所について、工夫・検討する必要があると考えている。

(4)北九州八幡東病院における虐待に関するその後の取り組み状況について

- ア 平成 19 年 12 月以降の虐待に関する再発防止策の取り組み状況として、平成 20 年 3 月末の状況を病院から報告を受け、指導・研修、報告体制、介護サービス相談員派遣事業の導入などについて、真摯に取り組みが継続されていることを確認した。

(5)虐待に関する事実確認について

- ア 今回 6 件について調査結果を報告、すべて虐待の事実を確認できなかった。
これに対して、委員からは、認知症の行動障害に関する事案について、その状況の把握をきちんと行い、ケアの仕方を工夫する必要があるのではないかなどの意見があった。

3 今後の課題・予定

(1)事故再発防止の取り組みの継続について

現在までの事故報告の状況を踏まえて、今後も、事故再発防止のための必要な取り組みを行う。

(2)介護サービスに関する苦情の未然防止の取り組みについて

外部の目が入りにくい介護サービス現場での利用者の疑問や不満、不安を解消していくための必要な取り組みを行う。

(3)施設及び介護サービス事業者による高齢者虐待防止のための取り組みについて

虐待を未然に防止していくために、管理者や従事者を対象として、虐待に対する正しい理解を促進するための研修等の実施を継続していくとともに、虐待の可能性への気づき、早期発見のための環境づくりの取り組みを行う。

(4)今後の開催時期について

次回、委員会を 8 月に実施して（仮称）新北九州市高齢者支援計画の策定について検討を行う予定。

事故の種類別の件数(平成18・19年度)

事故の種類		平成18年度		平成19年度	
		件数	内死亡事故	件数	内死亡事故
異食		0	0	2	0
感染症	インフルエンザ	0	0	0	0
	疥癬	5	0	9	0
	結核	0	0	1	0
	その他感染症	38	0	15	0
誤嚥		48	15	21	5
誤薬		14	0	9	0
転倒		689	0	530	0
転落		55	0	66	0
その他けが(転倒・転落以外)		116	0	205	0
盗難		1	0	2	0
離設		10	0	10	0
その他		26	2	23	4
合計		1002	17	893	9

「その他」は、事故の種類の一覧以外のもの
(例:肺炎、急性心不全、自殺、胃瘻チューブ抜けなど)